

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

明治安田生命保険相互会社（証券コード：－）

【据置】

長期発行体格付	A A
格付の見通し	安定的
保険金支払能力格付	A A
格付の見通し	安定的
国内 C P 格付	J－1＋

■格付事由

- (1) 国内の大手生命保険グループの一角を占める明治安田グループの中核会社。団体保険のシェアは国内トップを誇る。米国スタンコープなどを擁し、海外保険事業を含めた地域・事業の分散と収益源の多様化が進んでいる。発行体格付は、グループ信用力と同等としている。グループ信用力は、国内における堅固な事業基盤、保有契約の厚みなどを背景とした安定的な収益力、リスク対比でみた資本充実度などを評価し「AA」相当とみている。事業基盤、財務基盤とも定量面での安定感が高いことが強みと JCR はみている。グループの契約業績は堅調に推移しており、新契約価値が着実に積み上がっている。金利リスク等のリスクは適切にコントロールされており、経済価値ベースでみた指標の感応度は抑えられている。
- (2) グループの市場地位・競争力は高い。医療、介護、就業不能など保障の組み合わせと加入後の見直しに自在性のある、顧客のライフステージに応じた商品の提供が特徴である。小口商品を活用した若年層の顧客開拓も実施している。健康増進型商品や関連サービスの提供、他業態との連携なども進めており、顧客基盤を確保している。メインチャネルの営業職員は3万人超を維持しており、育成態勢の強化、デジタルを活用した営業手法の高度化などが奏功し、営業職員の定着率（在籍率）や契約の継続率などが安定的に推移している。主力商品の販売は堅調であり、充実したコンサルティングと契約者へのアフターフォローの徹底が解約・失効・減額率の抑制に結びついている。ただ、営業職員チャネルの顧客数が伸び悩んでいる点は課題とみている。海外保険事業では、スタンコープの契約業績が堅調である。グループ全体の保険料および業務利益（基礎利益から標準責任準備金の積増・戻入の影響を除いた利益）の20%程度を海外が占め、バナーライフの買収合意などにより、利益水準の向上が見込まれる一方、事業拡大に応じたリスク管理とガバナンス態勢の整備が重要であり、PMI の進捗などにつき中期的な視点でフォローしていく。
- (3) グループの収益力は比較的高く安定している。外貨建一時払商品の販売動向などによる変動もみられたが、新契約年換算保険料などの契約業績は堅調に推移している。大規模な保有契約に基づく比較的厚い危険差益の確保によって、グループ業務利益は安定している。金利上昇による利差益の拡大で、利益水準は高まっている。顧客ニーズに応じて貯蓄性商品を販売する一方、第三分野など保障性商品への注力などで、保有契約の商品ミックスが徐々に変化している。グループサープラスは着実に拡大しており、同様のトレンドを継続できるか注目していく。
- (4) グループの資本充実度は AA レンジ相応とみている。ESR は相当程度のストレスがかかる状況においても十分に健全性を維持できる水準にある。早くからサープラス・マネジメント型 ALM を推進し、デュレーションギャップの縮小による金利リスクの削減を進めてきたこともあり、ESR の感応度は抑制されている。海外保険事業が拡大しているため、グローバルかつグループ一体的な ERM 態勢の重要性が高まっている。

（担当）宮尾 知浩・松澤 弘太

■格付対象

発行体：明治安田生命保険相互会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的
保険金支払能力	AA	安定的

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	1,000 億円	J-1+

格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2026 年 1 月 21 日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩
主任格付アナリスト：宮尾 知浩
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014 年 1 月 6 日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024 年 10 月 1 日）、「生命保険」（2024 年 2 月 8 日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） 明治安田生命保険相互会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル